

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっとルーム柴田		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で常に情報共有を図り、より良い支援を行うための話し合いができています。	お子さんの成長の為に安心してできる環境を整えることが大切と考え、職員間で風通しの良い環境を一人一人が意識して実践している。	児発管・管理者以外も積極的に外部研修等の参加を行い、療育の知識や支援の質の向上にさらに取り組んでいきたい。
2	個々の特性や成長段階に合わせた関わりや支援を職員全体で行っている。	診断名や障害名にとらわれることなく、個々の特性に向き合いそれぞれに必要なテーマに沿った個別課題の提供に努めている。またお子さん一人一人が自己受容感を高められるよう、日々肯定的な声掛け支援の工夫を行っている。	職員全体がお子さん一人一人と向き合う時間をさらに確保することで、より幅広く職員の様々な視点でお子さんを理解できると考え、直接支援以外の業務(事務作業等の時間)について見直しを行っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内はバリアフリーの環境整備されているが、玄関先のスロープに屋根が設置されていない。	雨や雪の日、スロープの屋根がないことで傘をさしながら車椅子移動及び歩行介助を行っている。スロープ部分が濡れていたりと凍結している際は安全確保が不十分になっている。	安全確保のために今後スロープに屋根を設置することを検討していく。
2	送迎範囲は柴田町・大河原町としているが、ご自宅の方向がそれぞれ異なる為、乗り合わせて送迎することが難しいケースがある。	送迎の組み合わせにより、ご自宅到着が遅くなりお子さんや保護者様に不安を与えてしまうことがある。	ご自宅への到着が遅くなるのが想定された時点で保護者様へ連絡を入れ到着予定時刻をお伝えする。お子さんが不安にならないよう送迎車内においても安心していただける声掛けを行っていく。
3			